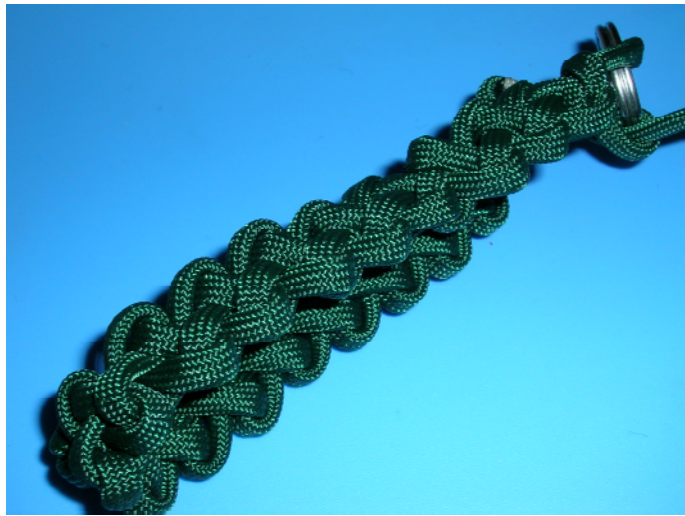


引きとけ編み

XRQTechLab

数mの細いひもを常備しておく
と何かと便利です。しかし、いざ
使おうとしたとき、纏れていたの
では困ります。持ち歩いても邪魔
にならず、使うときすぐに一本の
ひもになる編み方です。

ここでは2mのパラコードを編
みました。編みあがると約20cm
になり二つに折り返して提げら
れるようにすれば、10cmほど
になります。リュックやベルトに
付けておくといざというときに便
利です。



つり下げられるようにリングや金具を
付けるとよいと思います。

基本的に、この編み方は引きとけ結びを
連続したものです。

コード全体の真ん中あたりに引きとけ結
びを作り、結び目の方（引いても輪が小さ
くならない方）のコードにリングを入れ、
最初に作った引きとけ結びの輪の中に、こ
のリングを通した側のコードを折り返して
挿入します。

引きとけ結びを締めて、新たに作られた
折り返しの輪の中に、締めるために引いた
コードを折り返して入れることの繰り返し
です

XRQTechLab (C)copyright reserved 2013



輪を締めて、折り返しをしっかりと固めたら、そのコードを折り返して、新たに出来た輪の中に入れ、もう一方のコードを締めて編み目をきつくします。

この操作を左右交互に繰り返します。輪を締めると同時に、編み込みがしっかりと行われるよう新たに出来た輪を引き締めるのがコツです。



引っ張っても動かない方のコードを折り返して輪の中に入れる

他方のコードを引いてしっかり締める

締めた方を折り返して輪の中に入れる。

もう一方のコードを引いてしっかり締める
折り返しを輪の中に入れるとき、下から入れるか上から入れるか統一した方が編み目がきれいです。



編み込みの最後の処理は折り返しではなくコードを通して、相手方のコードを締め、留めてしまいます

余ったコードでリングに繋ぐようにすればコンパクトにまとまります。

解くときには、輪に通してあるコードを抜き、2本のコードを引けばすぐに1本のコードに戻ります。

